

2020年度
(令和2年度)

国際放送番組編成計画

国際放送局

目 次

1. 放送番組時刻表 ～別 表～
 2. 編成計画の要点----- 1～4
 3. 放送時間等 ----- 5～8
- 放送時間（1日）
 - 部門別定時放送時間および比率（週間）

<実施の期日>

○2020年3月30日（月）から実施

2. 編成計画の要点

[NHKワールド JAPAN]

(1) テレビ（英語・外国人向け放送）

◇“東京2020”の舞台 日本を紹介

東京大会の開催都市や日本各地のホストタウンについての情報を発信する番組、ホストタウンと相手国とのつながりを伝える番組を制作するほか、聖火リレーの模様もコンパクトにまとめ、発信します。また、東京大会の開催時期に、競技結果のほか、スポーツの歴史や競技の魅力・見所を紹介します。

◇多彩な発信経路でニュースを強化

毎正時のニュースでは、新設するニューヨークスタジオを活用して、多彩なニュースを日本やアジアからの視点も交えて伝えます。地震や台風などの災害時には、総合テレビとの連携を強化するとともに、SNSや多言語によるニュース配信をすることで、安全・安心情報の提供を強化します。

◇新共生時代～日本社会とレガシー～

多文化の共生を目指す日本各地の外国人コミュニティに焦点をあてた番組や日本の暮らしに関する外国人の疑問に答える番組、自然災害の多い日本における防災の工夫を伝える番組、世界的な課題に日本・アジアの視点で向き合う番組を充実させます。あわせて、多言語展開を推進するとともに、放送と連携したデジタル展開も強化します。

◇「国内・国際連携」で豊かなクオリティーコンテンツ

海外の視聴者にも関心が高い医療・健康をテーマにした番組や、ドラマや音楽など多彩な日本の魅力を発信する番組、NHKならではのドキュメンタリー番組や地域放送番組の英語化など、国内放送とのマルチユースを引き続き推進します。

◇新設番組の概要

＜国際独自番組＞

●「Where We Call Home」

＜月・前10：30～10：57＞ほか

日本に暮らす外国人の数が過去最高の273万人、人口の2%を超えた日本。彼らは地域の中でどんな役割を演じ、どんな悩みを抱え、何を支えにそれらを乗り越えようとしているのか。「多文化共生」のヒントを、ドキュメントなどでお伝えしていきます。

●「Deeper Look from NY」

＜火・後1：30～1：45＞ほか

世界のハブ・ニューヨークから、政治・経済、社会問題、文化・芸術などあらゆる分野の世界的知識人・専門家と、番組アンカー陣との全力の対話を発信します。専門家だからこそ語れる・聞くことができる深い話を伝えて、この世界の理解を深めます。

●「Doctor's Insight」

＜火・後1：45～1：55＞ほか

世界最高レベルの長寿国・日本。海外からも最先端の医療技術ときめ細やかな診療に注目が高まる中、テーマごとに専門の第一人者を訪ね、具体的な健康対策や医療情報について、コンパクトにわかりやすく伝えます。

●「Culture Crossroads」

＜木・前0：30～0：45＞ほか

多文化・多言語の共生社会で役に立つ情報、魅力的な話題を様々な角度から発信します。“東京2020”のホストタウンに関する話題や、身近で役立つ防災・“BOSAI”情報、各国の大使が語る日本の魅力など、バラエティー豊かにお伝えします。

●「The Flame Across Japan」

＜月～金・後3：23～3：28、土～日・後5：55～6：00＞ほか

東京オリンピックとパラリンピックに向けて行われる聖火リレー。日本各地をつなぐリレーの模様を5分にまとめ、期間中、毎日放送します。コース周辺の魅力や観光情報なども織り交ぜてコンパクトに伝えます。

(2) ラジオ（17言語・外国人向け放送）

◇安全・安心に役立つ情報の発信を強化

災害や大きな事件・事故の際には機動的に対応し、最新のニュースを的確に伝えます。防災・減災については、引き続き日本のノウハウなどを発信し、世界のリスナーに安全・安心を届けます。年々増加しているアジアからの訪日・在留外国人に向けても、ラジオ第2放送との連携をさらに強化し、最新情報を届けます。

◇日本への理解を深める情報・日本滞在時に役立つ情報を発信

日本への関心が大いに高まる2020年、日本の文化や魅力、地域の話題などを引き続き取り上げ、訪日意欲や日本への理解を促進します。また、アメリカの公共ラジオに番組を提供する試みをスタートし、日本をより身近に感じてもらうとともに、「NHKワールド JAPAN」の存在感を高めます。

(3) インターネット

◇ユーザー視点にたったサービスの充実

テレビとラジオを統合した新アプリやウェブサイトのバージョンアップにとりくみ、災害時のインターネット発信をさらに充実させます。テキスト、動画、音声をわかりやすく配置し、ユーザーのニーズや使い勝手を考慮したインターネットサービスを展開します。

◇SNSを活用した発信を強化

ニュースのショート動画をSNSで発信するなど、さまざまな特性とユーザー層を持つインターネットメディアをフル活用して、NHKワールド JAPANの認知向上を図ります。

◇多言語コンテンツ発信の強化

AIによる自動翻訳を活用した多言語字幕付与サービスをストリーミングで実施するなど最新技術も活用し、より多くの方にNHKの豊富なコンテンツを届けるための施策を実施します。中国語発信については、簡体字に加えて繁体字発信も充実させ、多彩なコンテンツを届けます。

[NHKワールド・プレミアム] (日本語・在外邦人向け放送)

◇ “東京2020” を迎えた日本のいまを伝える

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた日本各地の動きや競技結果を、ニュースなどを通してくわしく伝えます。また、2020年から先の課題や解決策を、さまざまな角度からわかりやすく伝えます。

◇ 海外の日本人の「安全」と「安心」を守る

海外で暮らす日本人や旅行者の命と暮らしを守る重要なライフラインとして、内外で頻発する自然災害や、大きな事件・事故などの際には、機動的にニュースを編成するなど、迅速かつ的確な情報の提供に努めます。

[NHKワールド・ラジオ日本] (日本語・在外邦人向け放送)

◇ 最新のニュース・番組、安全・安心情報の提供

国内のニュースや情報番組、スポーツ中継など、2020年を迎えた日本の“いま”を届けます。また、災害や大きな事件・事故の際は最新のニュースを国内と同時に伝えるほか、毎日、海外安全情報を伝え、海外で暮らす日本人の安全・安心を守ります。

3. 放送時間等

○放送時間（1日）

[NHKワールド JAPAN]

<テレビ（英語・外国人向け放送）>

放送時間	23時間以上
------	--------

<ラジオ（17言語・外国人向け放送）>

使用言語（17言語）	放送時間
英語	2時間50分
中国語	2時間50分
朝鮮語	2時間50分
ロシア語	3時間30分
インドネシア語	2時間50分
タイ語	1時間50分
ベトナム語	1時間50分
ビルマ語	1時間20分
ベンガル語	3時間15分
ヒンディー語	2時間20分
ウルドゥー語	2時間00分
フランス語	2時間00分
ペルシャ語	2時間10分
アラビア語	4時間00分
スワヒリ語	2時間00分
スペイン語	1時間30分
ポルトガル語	1時間30分
合計	40時間35分

[NHKワールド・プレミアム] (日本語・在外邦人向け放送)

放 送 時 間	およそ5時間
---------	--------

*北米・欧州地域では、現地の生活時間にあわせて
各1日およそ5時間の放送を実施。

[NHKワールド・ラジオ日本] (日本語・在外邦人向け放送)

放送時間 (日本語)	24時間
------------	------

○部門別定時放送時間および比率（週間）

[NHKワールド JAPAN]

<テレビ（英語・外国人向け放送）>

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 119・20	% 71.9
インフォメーション	46・40	28.1
合 計	166・00	100.0

<ラジオ（17言語・外国人向け放送）>

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 211・18	% 74.4
インフォメーション	72・52	25.6
合 計	284・10	100.0

[NHKワールド・プレミアム]（日本語・在外邦人向け放送）

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 31・35	% 90.8
インフォメーション	2・22	6.8
娯楽	0・50	2.4
合 計	34・47	100.0

[NHKワールド・ラジオ日本] (日本語・在外邦人向け放送)

	放送時間	比 率
報 道	時間 分 108・47	% 64.7
インフォメーション	57・23	34.2
娯 楽	1・50	1.1
合 計	168・00	100.0